

2022年度ASCA夏季水泳競技大会

2022年8月28日(日) 日本ガイシアリーナ(50m)

順位	氏名	チーム名	タイム	備考	順位	氏名	チーム名	タイム	備考		
No.5 女子 200m 自由形 T決勝 (11,12歳)					No.14 男子 50m 自由形 T決勝 (10歳以下)						
2	玉置 侑衣	1toSWIM	中1	2:12.72		6	山下 樟	1toSWIM	小4	32.46	
No.13 女子 50m 自由形 T決勝 (10歳以下)					" (15~18歳)						
1	丹所 潤瑠	1toSWIM	小5	30.31		3	則竹 琉成	1toSWIM	高2	25.95	
No.17 女子 400m 自由形 T決勝 (13歳以上)					No.24 男子 100m 自由形 T決勝 (10歳以下)						
OPN	玉置 侑衣	1toSWIM	中1	4:35.42		2	山下 樟	1toSWIM	小4	1:10.63	
No.257 女子 50m バタフライ T決勝 (10歳以下)					" (15~18歳)						
1	丹所 潤瑠	1toSWIM	小5	34.46		1	則竹 琉成	1toSWIM	高2	56.17	

今年の夏、最後の公認競技会となった、愛知スイミングクラブ協会主催の夏季大会に出場しました。

この大会も、厳しい出場制限記録がかけられており、出場者は4名のみとなりました。

玉置・丹所の両選手は、全国ジュニアオリンピックが終わった直後という難しい日程の中ではありましたが、安定した記録を残しただけでなく、普段挑戦の機会がなかなか無い長距離種目にエントリーするなど、次の目標に向けて改めて自分の今の力を試すことができたのではないのでしょうか。

山下選手は、夏の強化練習でレベルアップした持久力の成果か、100m自由形で後半の粘りが出てきました。

則竹選手も、高校2年生となり、なかなか記録の更新が難しくはなってきましたが、高いスピードをどこまで維持できるのかという課題を改めて見せつけられたのではないのでしょうか。

どの選手も、これから秋以降にも主要な大会が続きます。連戦となる期間もありますが、まだまだ育成の年代の選手たちですので、先を見据えて強化に励んでいきたいと思えます。

(報告：加藤)